



## 3年生がタブレット（iPad）を使い始めました（12/1）



今年度コロナウィルスの影響で早まった一人一台のタブレット配備ですが、いよいよ3年生から使い始めることになりました。1、2年生のタブレットも近々学校に納入される予定です。

タブレット使用のスタートとなる12月1日の6時間目、豊中市の岩元教育長や教育委員会の方も3年生の様子を見に来られました。（写真＝タブレット配布の様子を見に来られた岩元教育長）

授業の最初の15分は担任の先生が、必要な書類や豊中市が定めたタブレットのルールについて説明をしましたが、その後は各クラスのICT係にバトンタッチ。係の生徒が前に立ち、使い方の説明をしたり、実際に使用する時には教室の中を回りながら質問に答えたり、やり方を伝えたりしていました。頼もしかったですね。各クラスのICT係すごく頑張っていました。

ICT係はこの日まで5、6回打合せを持ち、何のためにタブレットを使うのか（目的）、どんなことに気をつけたらいいのか（配慮事項やトラブル）を話し合い、プリントにまとめ説明してくれました。調べ学習の練習で検索した言葉も、タブレット使用に必要なキーワードで、これもICT係が考えたそうです。教育長や教育委員会の方も生徒どうしで、タブレットの導入を進めている姿にいたく感心されていました。

さっそく翌日から授業で活用したクラスもありました。わたしたち教職員も今後、授業の中でどんな使い方ができるのか勉強していきたいと思っています。みなさんも、使用の目的やルールを忘れずに大切に使ってください。1、2年生のICT係はスタンバイです。

## 2020年度卒業式 2021年度入学式の日程が決まりました

卒業式 3月16日（火）（午前）  
入学式 4月7日（水）（午後）

時間等詳細は後日改めてお知らせします。  
3年生保護者対象の進路説明会（11月）でお配りしたプリントには予定として「卒業式3/15」と記載しましたが、正式に16日（火）に決まりましたのでご注意ください。

カウントダウンには早いですが・・・今の仲間との日々を大切に過ごしてください・・・

## 1年生 寺田和子さんのお話を聴きました（11/17）



1年生がボランティア活動に取り組む始めとしてお話を聞いたのが、以前蛍池保育所（現蛍池こども園）にお勤めだった寺田和子さんです。現在は刀根山地区の赤ちゃん訪問をされています。

小中学校時代は自分に自信を持てずに「“暗い”学校生活を送っていました」という寺田さん。でも「いろんなことが上手にできなくてもいいんだ。今の自分でいいんだ。」と気づかせてくれたのは

保育所の子どもたちであり、また、「先生はいつもにこにこ笑っているね。」と声をかけてくれた保護者だったそうです。その「いつも笑っている」というのも、もともとは小中学校時代、「自信のない自分をごまかすために笑っていたのがきっかけだと思います。でも、それが保護者から好意的に受け止めてもらって、すごくうれしかったです。」とおっしゃっていました。

コンプレックスでやっていたことが、いつしか自分に自信を持つことにつながったわけですから人生ってわからないものです。一人ひとりの存在のすばらしさと、相手の気持ちに寄り添うことの大切さを教えてくれた寺田さんのお話でした。

## 2年生 “働くこと” について考えました

コロナ対策のために中止となった職場体験に代わり、2年生はグループでの職業調べとポスターセッション（11/11）を行い、「働くこと」の意義や中身に触れました。

11月17日には、実際に働いている方3組をお招きし、「働くこと」に対する思いを聴かせてもらいました。生命保険の関連会社で働くOさん。毎日車いすで電車を乗り継ぎ、元気に通勤されています。会社見学に来られた方に、自分の体験を交えて説明をしたときに「そうなんですね。参考になりました。」と喜んでもらえるのがうれしい、と語っておられました。

旅行会社にお勤めのMさん。先日の琵琶湖での体験学習でもお世話になりました。国内外いろんなところに行けたり、じかにお客さんの笑顔に出会い、「楽しかった！」という言葉をかけてもらったりするのが、やりがいであり自分のモチベーションだと熱く伝えてくださいました。

吉本興業の漫才で頑張っているジェロニモのMさんとFさんは、いきなりネタを披露してくださり、視聴覚室は大盛り上がりでした。漫才のネタが完成するまでに半年はかかる、というお話が印象的で、その後校長室でも「お客さんにお金を払って見に来てもらうのに、いい加減なことではできません。」と言っておられました。プロのプライドですね。生徒だけではなくわたしたち教職員にも刺激となった3組の方のお話でした。 十八中玄関の生け花 芸術的な花びら… →

